

第6回 苫小牧市中小企業振興審議会要旨

1 日 時 平成30年5月23日（水） 13:30～14:20

2 場 所 職員会館 304号室

3 出 席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

秋山委員、岩佐委員、鏡委員、川島委員、小山委員、坂本委員、多田委員
中條委員、西川委員、平井委員、保田委員、柳委員、吉川委員、渡辺委員

(2) 事務局（市）

望月産業振興室長、桜田企業政策室長、
商 業 振 興 課：武田課長、由利主査、新田主査、朝倉主事
工業・雇用振興課：加賀谷課長、能代主査、今井主事

4 概 要

(1) 開会

苫小牧市中小企業振興審議会開会(委員15名中14名出席、苫小牧市中小企業審議会規則第4条第2項の規程による審議会開催の定足数を満たしている)

(2) 事務局体制の変更について

市の組織改革で、4月より「工業労政課」が「工業・雇用振興課」へ課名変更、事務局員が工業・雇用振興課・廣川主事から今井主事に交代。

(3) 議事

①審議会委員の変更及び委員名簿の変更について

川島会長から、人事異動に伴い石黒委員から平井委員へ交代となったこと、また会長の肩書きが学長から教授へ変更となったことを別紙1に基づき報告。平井委員から就任の挨拶。

②中小企業振興計画の配布・市ホームページ公開について

事務局から、計画本編・別冊を6月中を目処に各委員へ配布すること、市ホームページでもこれら資料を公開することについて説明。

③計画別冊への平成29年度事業実績の反映について

事務局から、計画別冊について前回審議会の議論等を経て変更した点について、資料3に基づき報告。（「各事業の実施時期を追加」「平成29年度事業実績の追加」）併せて、別冊について後日でも質問を受け付けること、内容は毎年更新しホームページで公開することを説明。以下、質疑。

▽委員

事業概要は2～3行のものが多いので、詳細を尋ねたい場合のため担当部署の電話番号を載せてはどうか。

▼事務局

連絡先一覧を最後のページに追加したい。

▽委員

例えば事業No.37の空き店舗活用について、いくら補助金を申請できるかなど金額の表示について検討いただきたい。

▼事務局

ご指摘内容について、中小企業者等にとって使いやすいように事務局で修正を検討したい。

④その他

●事務局より下記について報告等を行った。

- ・4月から市が北海道国際流通機構に加入し、今後市内中小企業の海外への販路拡大について、情報提供等を行っていくことを資料4に基づいて報告。
- ・審議会委員間でも連絡調整を行えるよう、「電話番号」「メールアドレス」を委員に限り共有することについて説明。委員の了承を得る。
- ・計画を産業別に考える必要があるか、次回審議会の協議内容について説明。
- ・6月の新規創業セミナーについて、資料5に基づき紹介。

○川島会長より、苫小牧市官公需契約実績について資料6に基づき説明。

▽委員

資料4について、北海道国際流通機構を絡めて中小企業が海外輸出を行うプロセスを知りたい。

▼事務局

まず対象企業が機構の会員になり、輸出したい商品を機構の専用ホームページに掲載してもらおう。掲載商品を海外輸入業者が見て、買い付けたいという需要があれば、その仲介を機構が行う。その際、輸出の障害となる「代金決済」や「言語の違い」などの問題を機構が取り次いでくれるので輸出のハードルが低くなるというメリットがある。詳細は販路拡大部会でも説明したい。

▽委員

輸出費用はこちら側の企業が負担することになるか。

▼事務局

輸出方法は様々な種類があるが、小口輸出ですと重量に応じての負担になるかと思う。

▽委員

一般的に考えると、海外営業担当が運送費を含めて負担し現地での売上から利益を得るといった形ではないか。輸出側企業が、船賃などを計算するとは思えないのだが。

▼事務局

機構を利用することで、その物流ネットワークを使って定額で輸出できるというメリットがある。賞味期限の短い商品などは難しいかと思うが、ノウハウのない中小企業が輸出に挑戦するには効果のある仕組みと考えている。

▽会長

機構の仕組みについては、次回事務局より改めて説明をお願いしたい。

●事務局より部会会場・次回審議会について下記のとおり説明。

- ・創業促進部会：職員会館2階 和室
- ・人材育成・事業承継部会：職員会館1階 102号室
- ・販路拡大・需要開拓部会：職員会館3階 304号室

【次回審議会日程】

平成30年7月18日(水) 13:30～

職員会館3階 304号室

(4) 閉会